

発行：2016年9月1日  
発行人：北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター  
〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目 TEL/FAX 011-706-4005  
<http://www.juris.hokudai.ac.jp/ad/jcenter@juris.hokudai.ac.jp>



## Project Report 2016年7月に行われたセンター関連のイベント・研究会一覧（全4件）

07月01日（金）  
法理論研究会定例研究会  
「ロバートコートの10年とスカリアの遺産」  
時間：15時～  
場所：法321室  
報告：會澤恒氏（北海道大学教授）  
共催：北海道大学公法研究会、北海道大学法理論研究会、法学研究科附属高等法政教育研究センター



●報告Ⅰ「新法紹介—台湾における裁判官の評価制度及び懲戒制度の改革」  
報告：陳政陽（北海道大学修士課程）  
●報告Ⅱ「現代中国における弁護士の役割と位置づけ—弁護士に対する統制体制を中心に」  
報告：蘇航（北海道大学博士課程）  
共催：「体制転換と法」研究会、北海道大学法理論研究会、法学研究科附属高等法政教育研究センター

07月30日（土）  
「体制転換と法」研究会／法理論研究会共催  
「新法紹介—台湾における裁判官の評価制度及び懲戒制度の改革」  
「現代中国における弁護士の役割と位置づけ—弁護士に対する統制体制を中心に」  
時間：14時～  
場所：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 W401

07月30日（土）  
共催研究会「憲法裁判と社会保障法」  
時間：15時～  
場所：北海道大学法学部403室  
報告：全光錫先生（韓国憲法裁判研究院院長）  
使用言語：韓国語（日本語通訳あり）  
共催：北海道大学社会保障法研究会、北海道大学公法研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター

07月15日（金）  
ワークショップ「世界のルールの作り方・使い方」製品の安全と責任の所在～国境を越える日本製部品～  
時間：15時～17時  
場所：W202  
講師：（第1部）嶋拓哉教授、（第2部）法学政治学資料センター、附属図書館調査支援担当  
主催：北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター、法学政治学資料センター、附属図書館



## 7月の来訪記録 中学校・高等学校からの学部訪問（2件）

今月は、道内2つの中学校の生徒さんが、法学部を訪れました。

7月11日（月）  
北海道教育大学附属函館中学校より  
2年生（4名）  
7月26日（火）  
札幌日本大学中学校より  
2年生（72名）

終了後に実施したアンケートからは、これまで漠然としていた大学や法学部での学びや、法学・政治学という学問についてのイメージが明確になったという回答が多く見られました。



北海道教育大学附属函館中学校のみなさん。たくさんの質問を用意して来てくれました。尾崎センター長、池田准教授、櫛橋准教授が座談会形式でアドバイス。  
(2016年7月11日 14:00～16:00、W302室)

札幌日本大学中学校からは70名を超える生徒さんが来訪。長谷川法学部長による「法学部での学び」についての講演に熱心に聞き入っていました。  
(2016年7月26日 16:45～17:45、8番教室)

It's never too late to learn.

# 北大法学部・法学研究科で

# もつと気軽に もつと深く 学んでみませんか？

大学での学びは、若者だけの特権ではありません。社会に出て経験を積む中で「もう一度、勉強したい」と思ったことはありませんか？ 北大法学部は、様々な方々の学ぶ意欲に応えられるよう、多彩な学びの場を用意しています。

## 気軽に参加できる公開イベント

### 公開セミナー 公開講座 等

大学での学びのうち、比較的気軽に参加出来るものに、一般市民の方を対象にした公開

イベントがあります。大学ホームページなどでトップページに掲載されているイベント情報には、学外者の方が参加可能なものも多数ありますので、ご自身の関心にあわせてチェックされてみてはいかがでしょうか。

法学部・法学研究科主催のイベントについては、法学部ホームページに最新の情報が掲載されています。どうぞご利用ください。

#### 【公開講座について】



法学研究科及び附属高等法政教育研究センターでは、昭和58年以来、毎年夏（7月下旬～8月中旬）に「公開講座」を開催しています。今年度は「テクノロジと法/政治」をテーマに7月21日から8月18日まで全4回の日程で開催され、毎回熱のこもった講義が



H28年度公開講座開講式（2016年7月21日）

行われました。来年度はぜひご参加ください。尚、受講には事前申込と受講料が必要です。詳細は毎年6月下旬ごろからホームページ上でご案内しています。

## 必要な科目を選んで受講できる

### 科目等履修生 聴講生

学びたい内容が明確な方には、開設科目の中から必要な科目だけを選んで受講できる

「科目等履修生」「聴講生」などの学び方も有効です。「履修」と「聴講」の違いは、単位が取得出来るか否か。「科目等履修生」の場合は、学期末に試験等を行い、合格した方には教授会の審議を経て、所定の単位が与えられます。

また、「聴講生」は学部のみを設置された制度で、研究科（修士課程・博士後期課程）での募集は行っておりませんのでお気をつけください。

「科目等履修生」「聴講生」ともに募集は年2回。4月入学の場合は2月中旬、10月入学は、8月中旬が出席期間となります。詳細な日付は年ごとに異なりますので、ご確認ください。

尚、出席期間は毎回5～7日間程度となっております。定められた期間以外は、いかなる理由があっても受理できません。願書の請求、必



要書類の準備など、早めの準備をおすすめします。願書請求については、法学部ホームページでもご紹介しています。

授業科目には、「一部受講できない科目もあるので、出願前に必ず法学部窓口（教務担当）でご確認ください。」

## さらに本格的に学ぶなら…

他大学（短大・高専・専修学校等を含む）で学んだ方が学部での2年次・3年次に編入できる「編入学」制度（今年度出願期間10月3日～7日）、研究科修士課程の「社会経験を有する者の入試」制度（今年度出願は7月13日で終了）などもあります。詳細は、法学部ホームページ（入試情報）よりご確認ください。



皆さんのご来学を、お待ちしております。

所属	年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
法学部	科目等履修生	2	1	2	2	1
	聴講生	0	0	1	1	1
	計	2	1	3	3	2
法学研究科	修士課程	2	0	0	2	0
	博士後期課程	1	1	0	2	0
	科目等履修生	1	0	1	0	0
	計	4	1	1	4	0

参考：在籍有職者数

(2016年8月現在。教務・学事担当資料より)